



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社

コード番号 7287

URL <https://www.nippon-seiki.co.jp/>代表者（役職名） 代表取締役社長  
社長執行役員

（氏名） 佐藤 浩一

問合せ先責任者（役職名） 事業管理本部経理部  
シニアマネジャー

（氏名） 金子 基樹 (TEL) 0258(24)3311

四半期報告書提出予定日 2024年2月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する 四半期利益		四半期包括 利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期 第3四半期	229,646	15.1	6,639	350.0	11,657	337.4	4,516	—	4,321	—	15,586	72.8
2023年3月期 第3四半期	199,525	24.2	1,475	—	2,665	—	△563	—	△1,089	—	9,022	3,596.4

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	71.64	71.56
2023年3月期第3四半期	△18.06	△18.06

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	319,675	219,058	211,987	66.3
2023年3月期	356,233	206,375	199,542	56.0

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	308,000	11.7	7,500	174.9	4,700	259.8	77.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	60,907,599株	2023年3月期	60,907,599株
2024年3月期3Q	833,948株	2023年3月期	559,571株
2024年3月期3Q	60,328,316株	2023年3月期3Q	60,340,028株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する論旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2022年10月3日に取得した共栄エンジニアリング株式会社に係る暫定的な会計処理が、2024年3月期第1四半期において確定しています。2023年3月期の数値についてこれらの影響を遡及修正しています。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(報告企業)	12
(作成の基礎)	12
(重要性がある会計方針)	12
(セグメント情報等)	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2022年10月3日に取得した共栄エンジニアリング株式会社に係る暫定的な会計処理が、第1四半期連結会計期間において確定しております。これらの影響を遡及修正した後の数値に基づき、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との対比を行っております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、半導体ひっ迫の解消によりサプライチェーンの正常化が進み、全体としては緩やかな回復基調となりました。日本国内では緩やかな景気回復が見られ、米国ではインフレの高止まり懸念はあるものの、依然景気は堅調に推移しています。中国では不動産不況や個人消費の落ち込みによる経済の停滞が見られ、欧州諸国においてはインフレ率が鈍化傾向ではありますが本格的な回復には至っていません。世界的に物価・エネルギーコストの上昇が継続しており、ウクライナ情勢の長期化に加え中東での軍事衝突の発生により地政学リスクが高まるなど依然として先行きの不透明感が強まっております。

このような状況において、当社グループは、グループビジョン「技術により、世界の人々に安心・安全、そして、感動を提供するトータルソリューションカンパニー」の実現に向け、将来に向けた車載用計器等の設計・製造技術を中心に、高度な専門技術を蓄積・進化させてまいりました。また、持続的な利益創出を実現すべく原価低減活動に一層の重きを置き、より無駄のない筋肉質な企業体質の構築を推進いたしました。

主力となる車載部品事業においては、半導体ひっ迫がおおむね解消し、前年同四半期と比較し四輪車用計器・二輪車用計器ともに増収増益となりました。民生部品事業では、半導体ひっ迫により生じたバックオーダー解消のための増産があった前年同四半期と比較し、減収減益となりました。

当第3四半期連結累計期間の売上収益は、229,646百万円(前年同四半期比15.1%増)、営業利益は、6,639百万円(前年同四半期比350.0%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、4,321百万円(前年同四半期は1,089百万円の親会社の所有者に帰属する四半期損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

車載部品事業は、四輪車用計器・二輪車用計器等が増加し、売上収益は185,130百万円(前年同四半期比18.0%増)、営業利益は4,054百万円(前年同四半期は581百万円の営業損失)となりました。

民生部品事業は、空調・住設機器コントローラー等が減少し、売上収益は13,814百万円(前年同四半期比1.0%減)、営業利益は867百万円(前年同四半期比25.3%減)となりました。

樹脂コンパウンド事業は、樹脂材料の製品ミックスが良化し、売上収益は6,414百万円(前年同四半期比0.7%減)となりましたが、営業利益は384百万円(前年同四半期比214.3%増)となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が増加し、売上収益は18,845百万円(前年同四半期比13.5%増)、営業利益は822百万円(前年同四半期比0.1%増)となりました。

その他は、情報システムサービス等が減少し、売上収益は5,440百万円(前年同四半期比3.2%減)となりましたが、営業利益は627百万円(前年同四半期比1,210.6%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産については、棚卸資産が増加したものの、その他の金融資産が減少等により、前連結会計年度末と比較して36,558百万円減少し、319,675百万円となりました。

負債については、社債及び借入金の減少等により、前連結会計年度末と比較して49,240百万円減少し、100,617百万円となりました。

資本については、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末と比較して12,682百万円増加し、219,058百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業況等を勘案し、2023年11月10日発表の業績予想を修正しております。詳しくは、本日(2024年2月9日)発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合があり得ることをご承知おき下さい。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	30,043	35,101
営業債権及びその他の債権	54,553	47,302
その他の金融資産	55,114	9,855
棚卸資産	92,475	100,264
その他の流動資産	12,811	10,969
流動資産合計	244,999	203,494
非流動資産		
有形固定資産	68,829	70,681
のれん及び無形資産	8,946	7,892
営業債権及びその他の債権	430	3
その他の金融資産	28,408	32,309
繰延税金資産	4,371	5,082
その他の非流動資産	248	210
非流動資産合計	111,234	116,180
資産合計	356,233	319,675

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	42,850	40,605
社債及び借入金	64,668	14,253
その他の金融負債	1,923	1,668
未払法人所得税等	1,808	5,141
短期従業員給付	5,142	4,788
引当金	686	658
その他の流動負債	1,411	2,045
流動負債合計	118,491	69,159
非流動負債		
社債及び借入金	14,468	14,211
その他の金融負債	3,223	2,264
長期従業員給付	3,875	4,027
引当金	285	295
繰延税金負債	8,738	10,150
その他の非流動負債	775	508
非流動負債合計	31,367	31,457
負債合計	149,858	100,617
資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	4,435	4,418
利益剰余金	149,233	151,147
自己株式	△972	△1,296
その他の資本の構成要素	32,351	43,223
親会社の所有者に帰属する持分合計	199,542	211,987
非支配持分	6,832	7,070
資本合計	206,375	219,058
負債及び資本合計	356,233	319,675

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	199,525	229,646
売上原価	△171,934	△196,733
売上総利益	27,591	32,912
販売費及び一般管理費	△26,496	△26,447
その他の収益	906	885
その他の費用	△525	△710
営業利益	1,475	6,639
金融収益	1,775	5,156
金融費用	△586	△138
税引前四半期利益	2,665	11,657
法人所得税費用	△3,228	△7,141
四半期利益又は損失(△)	△563	4,516
四半期利益又は損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△1,089	4,321
非支配持分	526	194
四半期利益又は損失(△)	△563	4,516
1株当たり四半期利益又は損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)	△18.06	71.64
希薄化後1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)	△18.06	71.56

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益又は損失(△)	△563	4,516
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない 項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の利得及び損失	△804	2,747
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△804	2,747
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	10,389	8,322
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	10,389	8,322
税引後その他の包括利益	9,585	11,069
四半期包括利益	9,022	15,586
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	8,455	15,193
非支配持分	566	392
四半期包括利益	9,022	15,586

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の利得及び損失	確定給付負債(資産)の純額の再測定
期首残高	14,494	4,438	149,946	△1,014	7,533	-
四半期包括利益						
四半期損失(△)	-	-	△1,089	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	△804	-
四半期包括利益合計	-	-	△1,089	-	△804	-
所有者との取引等						
配当	-	-	△2,413	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	10	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	-
自己株式の処分	-	△42	-	42	-	-
連結範囲の変動	-	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	6	-	△6	-
その他の増減	-	-	△26	-	-	-
所有者との取引等合計	-	△32	△2,433	42	△6	-
期末残高	14,494	4,406	146,423	△972	6,722	-

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	10,858	18,392	186,257	8,616	194,874
四半期包括利益					
四半期損失(△)	-	-	△1,089	526	△563
その他の包括利益	10,349	9,545	9,545	40	9,585
四半期包括利益合計	10,349	9,545	8,455	566	9,022
所有者との取引等					
配当	-	-	△2,413	△277	△2,691
株式に基づく報酬取引	-	-	10	-	10
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0
自己株式の処分	-	-	0	-	0
連結範囲の変動	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	△6	-	-	-
その他の増減	-	-	△26	△6	△33
所有者との取引等合計	-	△6	△2,429	△284	△2,714
期末残高	21,208	27,931	192,283	8,899	201,182

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の利得及び損失	確定給付負債(資産)の純額の再測定
期首残高	14,494	4,435	149,233	△972	8,637	-
四半期包括利益						
四半期利益	-	-	4,321	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	2,747	-
四半期包括利益合計	-	-	4,321	-	2,747	-
所有者との取引等						
配当	-	-	△2,414	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	10	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△352	-	-
自己株式の処分	-	△28	-	28	-	-
連結範囲の変動	-	-	6	-	-	-
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	0	-	-	-
その他の増減	-	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	△17	△2,407	△324	-	-
期末残高	14,494	4,418	151,147	△1,296	11,384	-

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	23,713	32,351	199,542	6,832	206,375
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	4,321	194	4,516
その他の包括利益	8,124	10,872	10,872	197	11,069
四半期包括利益合計	8,124	10,872	15,193	392	15,586
所有者との取引等					
配当	-	-	△2,414	△81	△2,495
株式に基づく報酬取引	-	-	10	-	10
自己株式の取得	-	-	△352	-	△352
自己株式の処分	-	-	0	-	0
連結範囲の変動	-	-	6	△72	△65
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	-	-	0	-	0
その他の増減	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	-	△2,749	△154	△2,903
期末残高	31,838	43,223	211,987	7,070	219,058

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	2,665	11,657
減価償却費及び償却費	9,295	9,547
減損損失	228	240
受取利息及び受取配当金	△1,775	△2,538
支払利息	169	138
段階取得に係る差損益(△は益)	132	-
固定資産売却損益(△は益)	△382	66
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△7,417	10,890
棚卸資産の増減額(△は増加)	△20,027	△4,013
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	3,940	△7,370
引当金の増減額(△は減少)	△160	△33
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△96	57
為替差損益(△は益)	909	△823
その他	△666	2,066
小計	△13,186	19,884
利息及び配当金の受取額	1,547	2,837
利息の支払額	△168	△159
法人所得税の支払額	△2,682	△3,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	△14,490	18,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	27,199	49,704
有形固定資産及び無形資産の取得による 支出	△7,162	△8,420
有形固定資産及び無形資産の売却による 収入	384	307
投資有価証券の取得による支出	△76	△92
投資有価証券の売却による収入	16	0
貸付けによる支出	△8	△1
貸付金の回収による収入	120	28
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得 による支出	△1,413	-
その他	△10	△43
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,049	41,481

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,400	△46,700
長期借入れによる収入	13,000	5,000
長期借入金の返済による支出	△5,900	△8,891
リース負債の返済による支出	△1,472	△1,352
非支配持分への配当金の支払額	△408	△81
自己株式の純増減額(△は増加)	0	△500
配当金の支払額	△2,415	△2,414
社債の償還による支出	△10	△30
その他	-	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,392	△55,056
現金及び現金同等物に係る換算差額	589	△156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,540	5,058
現金及び現金同等物の期首残高	24,796	30,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,337	35,101

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日本精機株式会社(以下「当社」という。)は日本国に所在する企業であります。当第3四半期連結会計期間(2023年10月1日から2023年12月31日まで)及び当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年12月31日まで)の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社(以下「当社グループ」という。)から構成されております。当社グループは車載部品事業、民生部品事業、樹脂コンパウンド事業、自動車販売事業を主な事業としております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。当社は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件をすべて満たしているため、同第93条の規定を適用しております。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定される特定の金融商品等を除き、取得原価に基づき計上しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円(百万円単位、単位未満切捨て)で表示しております。

(4) 会計方針の変更

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IAS第1号財務諸表の表示(重要な(significant)会計方針に代わって重要性がある(material)会計方針を開示するための改訂)、IAS第12号法人所得税(単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金の会計処理の明確化)を適用しています。当該基準書を適用したことによる、当要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(重要性がある会計方針)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

## (セグメント情報等)

第1四半期連結会計期間より、当社グループの目標管理や業績評価の管理区分を変更したことに伴い、報告セグメントの区分を変更しております。「民生部品事業」に含まれていたアフターマーケットパーツ等を「車載部品事業」に含めております。

また、従来報告セグメントとしていたディスプレイ事業について重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	要約四半期 連結損益計 算書計上額 (注)3
	車載部品 事業	民生部品 事業	樹脂コン パウンド 事業	自動車 販売事業	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	156,886	13,955	6,460	16,600	193,902	5,622	199,525	—	199,525
セグメント間の 内部売上収益 又は振替高	—	—	1,204	9	1,213	8,822	10,035	△10,035	—
計	156,886	13,955	7,664	16,609	195,116	14,445	209,561	△10,035	199,525
セグメント利益又は 損失(△)	△581	1,161	122	820	1,523	47	1,571	△95	1,475
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,775
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△586
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	2,665

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・モジュールの製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△95百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	要約四半期 連結損益計 算書計上額 (注)3
	車載部品 事業	民生部品 事業	樹脂コン パウンド 事業	自動車 販売事業	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	185,130	13,814	6,414	18,845	224,205	5,440	229,646	—	229,646
セグメント間の 内部売上収益 又は振替高	—	—	1,472	10	1,482	8,018	9,500	△9,500	—
計	185,130	13,814	7,887	18,855	225,687	13,459	239,146	△9,500	229,646
セグメント利益	4,054	867	384	822	6,128	627	6,756	△116	6,639
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	5,156
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△138
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	11,657

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・モジュールの製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△116百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。